

2012年3月 日

WG 設置申請書

作成者：大月敏雄

1. 名称 英文名称は Sub Committee を付記	巨大災害時の住の確保と生活再建 WG	英文名称	Working Group on House Secure and Rebuilding of Daily Life after Great Disasters																																																																											
2. 所属本委員会 (所属運営委員会)	巨大災害の軽減と回復力の強いまちづくり特別調査委員会																																																																													
3. 設置期間	2012年 4月 ～ 2014年 3月																																																																													
4. 設置目的	<p>(具体的な目標)</p> <p>平時と非常時における、建築ストックの役割が今回ほど問われた災害はなかった。このことを踏まえ、以下の観点から、巨大地震時の住の確保を生活再建のために必要とされる建築計画的知見、平時・非常維持の専門家の関わり方について検討する。そして、この検討をもとに、東日本大震災にかかわる建築学会の第二次提言の内容を作成するとともに、その成果を広く社会に還元する。</p>																																																																													
5. 委員会の位置付け	<p>(学会に設置する必要性、緊急性、新規制及び委員会の性格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巨大災害の軽減と回復力の強いまちづくり特別調査委員会からの要請に基づく WG 設置 ・学会第二次提言を目標とするという具体的使命 ・今回の震災への対応、今後の災害への対応はもちろん、こうした災害対応型建築計画を分野横断的に検討することを通して、より総合力のある、社会対応力のある建築計画学の再考を目指す 																																																																													
6. 委員会の構成 (確定している委員予定者名簿を記載のこと。必ず会員名簿を記入すること)	<p>(委員構成の考え方、分野別構成、地域性、公募制等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分野：建築計画の複数分野をなるべく網羅 ・地域：被災三県を中心に過去の被災地からも召集 <table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>会員番号</th> <th>役職</th> <th>氏名</th> <th>勤務先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>9115705</td><td>主査</td><td>大月 敏雄</td><td>東京大学</td></tr> <tr><td>2</td><td>9921334</td><td>幹事</td><td>新井 信幸</td><td>東北工業大学</td></tr> <tr><td>3</td><td>9410943</td><td>委員</td><td>伊藤 俊介</td><td>東京電機大学</td></tr> <tr><td>4</td><td>9308756</td><td>委員</td><td>石井 敏</td><td>東北工業大学</td></tr> <tr><td>5</td><td>9104526</td><td>委員</td><td>市岡 綾子</td><td>日本大学</td></tr> <tr><td>6</td><td>9417903</td><td>委員</td><td>岩佐 明彦</td><td>新潟大学</td></tr> <tr><td>7</td><td>8110150</td><td>委員</td><td>狩野 徹</td><td>岩手県立大学</td></tr> <tr><td>8</td><td>9525112</td><td>委員</td><td>小林 健一</td><td>国立保健医療科学院</td></tr> <tr><td>9</td><td>9308609</td><td>委員</td><td>坂口 大洋</td><td>仙台高等専門学校</td></tr> <tr><td>10</td><td>0237584</td><td>委員</td><td>新堀 学</td><td>新堀アトリエ一級建築士事務所</td></tr> <tr><td>11</td><td>0114370</td><td>委員</td><td>角倉 英明</td><td>国土技術政策総合研究所</td></tr> <tr><td>12</td><td>9418399</td><td>委員</td><td>三浦 研</td><td>大阪市立大学</td></tr> <tr><td>13</td><td>9606706</td><td>委員</td><td>森 傑</td><td>北海道大学</td></tr> <tr><td>14</td><td>9623588</td><td>委員</td><td>巖 爽</td><td>宮城学院女子大学</td></tr> </tbody> </table>			No	会員番号	役職	氏名	勤務先	1	9115705	主査	大月 敏雄	東京大学	2	9921334	幹事	新井 信幸	東北工業大学	3	9410943	委員	伊藤 俊介	東京電機大学	4	9308756	委員	石井 敏	東北工業大学	5	9104526	委員	市岡 綾子	日本大学	6	9417903	委員	岩佐 明彦	新潟大学	7	8110150	委員	狩野 徹	岩手県立大学	8	9525112	委員	小林 健一	国立保健医療科学院	9	9308609	委員	坂口 大洋	仙台高等専門学校	10	0237584	委員	新堀 学	新堀アトリエ一級建築士事務所	11	0114370	委員	角倉 英明	国土技術政策総合研究所	12	9418399	委員	三浦 研	大阪市立大学	13	9606706	委員	森 傑	北海道大学	14	9623588	委員	巖 爽	宮城学院女子大学
No	会員番号	役職	氏名	勤務先																																																																										
1	9115705	主査	大月 敏雄	東京大学																																																																										
2	9921334	幹事	新井 信幸	東北工業大学																																																																										
3	9410943	委員	伊藤 俊介	東京電機大学																																																																										
4	9308756	委員	石井 敏	東北工業大学																																																																										
5	9104526	委員	市岡 綾子	日本大学																																																																										
6	9417903	委員	岩佐 明彦	新潟大学																																																																										
7	8110150	委員	狩野 徹	岩手県立大学																																																																										
8	9525112	委員	小林 健一	国立保健医療科学院																																																																										
9	9308609	委員	坂口 大洋	仙台高等専門学校																																																																										
10	0237584	委員	新堀 学	新堀アトリエ一級建築士事務所																																																																										
11	0114370	委員	角倉 英明	国土技術政策総合研究所																																																																										
12	9418399	委員	三浦 研	大阪市立大学																																																																										
13	9606706	委員	森 傑	北海道大学																																																																										
14	9623588	委員	巖 爽	宮城学院女子大学																																																																										

7. 活 動 計 画	(活動の具体的方法、内容) 初年度： ・2-3ヶ月に1度の会議を行う。 ・委員同士による研究・活動の情報・理念共有 ・学会大会シンポ等において、議論の成果を公表 ・年度末に、第二次提言（素案）を特別委員会に提出 2年度： ・2-3ヶ月に1度の会議を行う。 ・提言づくりのための情報収集、理論構築、復興プロセスの検討 ・学会大会シンポ等において、議論の成果を公表 ・年度末に、第二次提言を特別委員会に提出 ・議論の結果を報告書（可能であれば書籍）の形で公表		
8. 期待される成果と公表方法	(内容と公表形態) ・建物種別型建築計画ではない、建物連携型の建築建築計画の論理構築を行い、具体的に、発災時から復興にいたるまでの建築計画論を時間軸で描きだす。 ・このことを、学会大会、建築雑誌、報告書、書籍等で社会に問いかける。		
9. 設置を予定するWG 英文名称は Working Group を付記してください。 (WG がなければ記載不要。WG が2つ以上ある場合はこの欄を追加してそれぞれ記載すること。必要なら各 WG ごとに小委員会設置申請書と同様の書式のを添付する)	名称：	英文名称	
目的：			
期間： 2012年4月～ 2013月			

注1) 各項目に関して提示された事項に注目して記述してください。

注2) 合同小委員会、研究会を設置する場合にもこの書式を準用してください。